

公民館調査が始まりました

私たち民俗部会は、市民の皆さんの所に直接出かけて行って、たくさんの祭礼や行事を見せていただいたり、昔からの生活の様子に関するお話を聞かせていただいています。

夏の祇園祭や秋の例祭・新嘗祭、お正月のオカザリ(マユダマ)作りやワーホイの行事など印象に残る行事を間近で拝見させていただきました。なかでも、七月に行われた北野・五所神社(常陸大宮市小倉地区)の祇園祭は迫力のあるものでした。ベテランと若者が協力して、神輿を山上の神社から人々の住む平坦な里に降ろす様子には感激しました。指揮をした青年長が、急峻な階段を降ろし終えた瞬間に見せた安堵と達成感に満ちた表情は忘れられません。

また、今年7月に開催予定の鷺子の夏祭り(祇園祭)については、昨年の準備会議から取材させていただいています。現代は日本中の多くの地域で、伝統行事の存続に課題を抱える時代ですが、ここでの準備会議には若い方が多数参加され、伝統を守りながら円滑な行事運営をめざす改善案や山車の安全な活用法などについて、活発な議論がなされています。



▲小倉の祇園祭



小正月の「オカザリ」展示(歴史館)

民俗部会長 大津 忠男 氏
(茨城県立歴史館首席学芸員)

“長老の意見を聞きながら、実践では若者が活躍する”という集落の運営意識が実践されていて、その真剣な姿に感銘を受けます。今から、本番が楽しみです。しっかりと取材し、市史に記録を残したいと考えています。

さらに、昨年から地域の公民館での合同の聞き取り調査会(公民館調査)を実施しています。常陸大宮は自然豊かな地域ですが、それぞれの環境のなかで実際に経験されてきた生活の様子を教えていただいています。長田地区の溜池を利用した稲作や、諸沢・北富田地区の炭焼きや、コンニャクやタバコの栽培などについてのお話を直に聞くことができます。昨年は、旧山方町の二つの地区で実施させていただきましたが、これから順次他の地域でも実施する予定でありますので、その際には是非気軽にいろいろなお話をお聞かせください。よろしくお願いいたします。



■問い合わせ■

文化スポーツ課

文化・スポーツグループ ☎52-1111 (内線344)